

# 真壁小学校、跡地の利活用について



林 悦子 議員

## 問

真壁小跡地は、防災の観点からの要望、また、安心して子供たちが遊べる公園などの要望が多い。周辺には新築住宅も増えているが、鍋屋・川原町・飯塚地区の家屋の増加状況について伺う。

## 答

建設部長 この10年間で、新たに土地を求め新築された件数は、62軒。建て

かえなどの増改築を含むと、3地区合計で、約90軒となっています。

## 問

この地域は若い世代が増え、今後増加が見込まれる。市民要望に沿った跡地活用を図った方がよいと考えるが、公園にすることの都市計画上の利点はあるか。

## 答

建設部長 三千平米以上の宅地開発では、一定面積を公園等にしなければなりません。周辺に相当規模の公園があれば設置不要となり、その分宅地面積が増えます。また過去の開発時の残地にも適及適用され、宅地として有効利用ができます。

## 問

税収増に加え、住宅の集約など今後の街づくりにとって、跡地を公園にする利点は十分あると思うが、担当部の考え方はどうか。

## 答

建設部長 真壁小跡地は、審議会での審議を経て決定されますが、『①真壁の市街化区域南部の新築住宅や戸数が増えていること。②真壁地区の公園のほとんどが北部にあり、市街化区域南部には公園がない』といった実情を、機会があれば、申し上げます。いと考えております。

## 問

跡地は現在、ゴルフラウンドゴルフの方々が利用されているが、最近ではジョギングなど、身近に運動を楽しまれる方も多い。諸々考えると、真壁小跡地は、全世代が多目的に集える広場のような公園として整備、活用されることがふさわしいと思うが、市長の見解を伺う。

## 答

市長 公園について、検討してまいりたいと思っております。

令和2年12月